



大垣市政・経済記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年3月13日（木）岐阜県発表資料			
担 当 所 課	担当係	担当者	電 話 番 号
産業デジタル推進課	産業デジタル係	清水	内線 3726 直通 058-272-8467 FAX 058-278-3557

データから地域の未来をデザインする 「SDGs×データサイエンス2025ワークショップ」 を開催します！

情報科学芸術大学院大学（通称：I A M A S・学長：^{すずきのぶや}鈴木宣也）では、一橋大学（学長：^{なかのさとし}中野 聡）ソーシャル・データサイエンス研究科等と共同で「データから地域の未来をデザインする：SDGs×データサイエンス 2025 ワークショップ（※1）」を開催します。

本ワークショップでは、大垣北高校の生徒とI A M A S・一橋大学の学生が共にデータサイエンスの基礎である「データ可視化」や「ヴィジュアルリテラシー」（※2）を学び、「データにより地域の過去・現在・未来を描く」ことに取り組みます。

記

1 日 時

- (1) プレイベント 令和7年3月19日（水） 14:00～17:00
(2) ワークショップ 令和7年3月20日（木・祝） 9:30～17:00

2 内 容

(1) プレイベント（3月19日(水)）

第1部 キックオフ講義

講義1：「データサイエンスとヴィジュアルリテラシー」 14:00～14:30

^{すずきのぶや}
鈴木宣也(情報科学芸術大学院大学学長)

講義2：「データサイエンスの魅力」 14:30～15:00

^{わしたゆういち}
鷲田祐一(一橋大学商学部教授)

講義3：「データの可視化の技術」 15:00～15:30

^{やまべまさき}
山辺真幸(一橋大学ソーシャル・データサイエンス研究科 特任講師)

講義4：「研究事例の解説」 15:30～16:00

キム ホンジク(一橋大学社会科学高等研究院 専任講師)

第2部 チーム編成と研究課題決定 16:00～17:00

(2) ワークショップ(3月20日(木・祝))

- ・オリエンテーション 9:30～10:00
- ・グループワーク 10:00～14:30
- ・プレゼンテーション 14:30～16:30
- ・総評 16:30～17:00

3 会 場 ソフトピアジャパン・センタービル 4階
情報科学芸術大学院大学 ホール
(大垣市加賀野4丁目1番地7)

4 参 加 者 大垣北高等学校生徒 16名
一橋大学学生 13名
IAMAS学生 3名

5 問合せ先 産業デジタル推進課 産業デジタル係
TEL : 058-272-8467 FAX : 058-272-3557
E-mail: c11356@pref.gifu.lg.jp

※取材いただける場合は、事前に上記までご連絡ください。

【参考】

※1 一橋大学社会科学高等研究院に設置されている「国際公的統計研究・研修センター」と、2025年4月に設置される「都市空間・不動産解析研究センター」及び「ソーシャル・データサイエンス研究科」が合同で、ビッグデータを持つ民間企業、地域の大学・高校及び地域の持続可能性に関心を持つ方々を対象として、全国各地で実施され、その第1回としてIAMASにて開催するものです。

参加者は、2月中旬から3回にわたり実施されたオンライン講義を受講したのち、本ワークショップに参加します。

本ワークショップは、日本学術振興会・科学研究費基盤研究(S):24H00012「日本の物価・資産価格の変動」(研究代表者・清水千弘^{しみずちひろ})による社会還元事業の一環として開催されます。

※2 <データサイエンス>

データを収集、整理、分析し、そのデータから有益な情報や知識を導き出すための学問や技術。統計学、情報科学、機械学習、データ可視化などの多くの分野を統合し、データに基づいた意思決定を支援します。

<データ可視化>

データを視覚的に表現することで、データのパターンや傾向を理解しやすくする技術や手法で、具体的には、図表やグラフなどを用いて、数値や情報を視覚的に表現することより、複雑なデータを直感的に理解しやすくすること。

<ヴィジュアルリテラシー>

図やグラフ、写真、映像などの視覚的表現を正確に解釈し、それに基づいて考えたり、判断したりする力。